6月定例記者会見　市長原稿

それでは、6月の定例記者会見を始めます。

本日は情報提供の前に、まちの話題をお届けさせていただきます。

一点目ですが、7 月 3 日からオーストリアで開催される「ローラーダービー」の世界大会に、本市出身の菊池理恵さんが日本代表として出場されることが決定しました。

ローラーダービーは、アメリカ発祥の競技で、ローラースケートを履き、トラックを周回しながら相手チームを追い抜き、得点を競うスポーツとのことです。

世界49か国からの参加がある大きな大会ですが、本市ゆかりの選手が世界の舞台で戦う姿を、私も楽しみにしています。

次に、茨城県勢が好調のサッカー・J リーグの話題です。

昨年も好評で、多くの方にご来場いただいた、J1・鹿島アントラーズの「フレンドリータウンデイズ・龍ケ崎の日」が 7 月 20 日の日曜日に開催されます。

会場は当日、対 柏レイソル戦が行われる鹿嶋市・メルカリスタジアムで、本市物産品の販売のほか、様々なイベントも行われる予定です。

両チームとも現在好調で、今回の上位対決は注目の一戦です。また、鹿島アントラーズには、スタッフとして龍ケ崎出身の方も多く働いていると伺っておりますので、ぜひ会場に足をお運びいただければと思います。

また、現在 J2 では水戸ホーリーホックが非常に好調です。特に、今シーズンチームに加入した、本市出身の鷹啄トラビス選手は、スタメンで出場を続け、守備の大黒柱としてチームを支えています。

こうした、龍ケ崎市出身の「たつのこ」たちの活躍は、まちを元気にし、さらには、こどもたちに夢を与えるものでもあります。

教育・文化・スポーツなど、様々な分野での「たつのこ」たちの活躍を支え・伝えることで、龍ケ崎市のこどもたちが大きな夢を抱き、そのこどもたちが夢の舞台に飛び出すことで、このまちがより元気になる。そうした好循環を期待しているところでもあります。

それでは、本日の情報提供に入ります。

初めに、「公開型 GIS『龍まっぷ』による業務改善と利便性向上」についての情報です。

本市では、令和 7 年 4 月から都市計画や防災など 6 種の地理情報を一元管理した公開型GIS「龍まっぷ」の運用を開始しました。

以前、市のマップ類は紙の地図でしか対応をしていないものがあり、事事業者が地図情報を得るためには多くの場合、市役所まで足を運ぶ必要がありました。また、対応する職員も地名・字名などの詳細情報の把握が求められ、経験が浅い職員には負担となっていました。

４月の運用開始以降、ウェブサイトからのマップ閲覧が可能となり、基本的に来庁する必要がなくなりました。各担当窓口の来庁者数を令和６年４月～6 月期と、令和７年４月～6 月期で比較すると、最大で 78.2％の減少率になっています。
また、庁舎内に道路台帳・下水道台帳専用のタッチパネル式パソコンを設置したことで、市役所窓口での情報検索も容易になり、職員による窓口での対応時間も削減されています。
本マップは、ＤＸ推進と業務効率化、市民・事業者双方の利便性向上をはかることを目的に、「デジタル田園都市国家構想交付金」を活用して作成したものですが、運用から約3カ月が経過し、期待された効果が目に見える形で表れています。
本市では、これまでも市民が、市役所に来なくてもサービスを利用できる環境を整えてきましたが、このたびの「龍まっぷ」の運用で、市民に加え、事業者にとっての利便性も向上し、行政サービスのデジタル化による業務改善・利便性向上がいっそう進んだものと認識しております。

続きまして、「PPA方式による、市役所駐車場への太陽光パネル付きカーポートの設置」についてです。

本市ではこのたび市役所駐車場に、太陽光パネル付きのカーポートを設置し、この再生可能エネルギーを本庁舎消費電力の一部として使用することとしました。
設置場所は市役所本庁舎北側駐車場内、自動車 54 台分のスペースで、契約の相手方は、常陽グリーンエナジー株式会社です。

今回の契約の形態は、PPA 方式と呼ばれるもので、常陽グリーンエナジー株式会社が、本市の駐車場敷地内に太陽光パネル付きのカーポートを含む太陽光発電設備を設置し、発電された電力を本市が買い取る形となっております。
市は発電設備・カーポートなど、設備全体の初期投資及び維持管理費を負担する必要がなく、再生可能エネルギーを長期安定的に調達することができます。
年間想定発電量は約 19 万キロワットアワーで、この電力により、市役所本庁舎消費電力のおおよそ２割を再生可能エネルギーで賄い、年間約 72.7 トンの CO_2 排出量削減を見込んでおります。
また、太陽光発電設備の一部は停電時にも活用できるため、災害発生時には最優先で市の通信システムや防災情報端末への電力供給が可能となります。
この取り組みは、本市の最上位計画に基づき、カーボンニュートラルの実現に向けた施策を推進するものであり、また、2050 年までに CO_2 排出量実質ゼロを目指す本市の「ゼロカーボンシティ宣言」を実現するための事業の一環となります。
本市としましては、今後もカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを幅広く展開し、脱炭素・循環型社会の実現を目指していきます。

最後に、「撞舞」当日のグッズ販売についてです。
すでに日程等につきましてはご案内の通りですが、本市の夏の風物詩、国選択・県指定無形民俗文化財の「撞舞」は、7月25 日から始まる八坂祇園祭の最終日、7月27 日・日曜日の午後6時頃から根町の撞舞通りで開催されます。

歴史と伝統を受け継ぐこの催しには、例年、多くの市民・観光客の皆さまにご来場いただき、迫力ある演技が生み出す、その魅力を存分に感じていただいているものと思います。

今年の撞舞では、新たな試みとして、龍ケ崎市撞舞保存会が、撞舞とまいりゅうのコラボグッズを販売して、会場をさらに盛り上げる予定です。

販売されるのはタオルとトートバッグで、当日午後5時から撞舞終了時まで、数量限定で販売されます。トートバッグは白いキャンバス地に撞舞のロゴとまいりゅうがプリントされたもので、プリントの色違いで2種類。タオルは撞舞をイメージした図柄を織り込んだタイプと、撞舞の文字とまいりゅうの図柄を織り込んだタイプの2種類です。タオルが 600 枚、トートバッグが 500 枚の限定で、値段はそれぞれ 500 円とのことです。

撞舞自体の魅力に加え、今回発売される撞舞グッズなどで、より多くの人がその魅力を身近に感じ、伝統文化継承への支援の輪が広がってくれればと考えております。

6月から始まった毎週日曜日の練習も順調に進んでいると聞いており、今年も2人の舞男のほか、新しい舞男候補者が練習に励んでいます。将来を担う若い世代が真剣に取り組む姿勢は、大変頼もしく、未来につながる確かな息吹が感じられます。

皆さまにはぜひ、この伝統行事をご覧いただき、その素晴らしい演技と地域文化への理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。